**北大生協2021年度第６回定例理事会　発言録**

1　日時　2021年11月24日（水）　18:15～20:17

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

井崎貴皓理事（自宅、北海道札幌市北区）

金川眞行理事（北海道大学内、事務室）

今村央理事（自宅、北海道函館市）

原拓也理事（北海道大学内、研究室）

吉川牧瀬理事（自宅、北海道札幌市北区）

奥山莉子理事（北大生協会館4階事務室）

3　出席役員

理事総数　　21名中　15名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、伊藤凌常務理事、髙橋廉常務理事、

井崎貴皓常務理事、小松慎太郎常務理事、安藤亮博常務理事、金川眞行理事、今村央理事、

原拓也理事、髙木暉馬理事、三澤建成理事、吉川薫穂理事、奥山莉子理事（18:42～）

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）林忠一常務理事、小篠隆生理事、笠原敏史理事、伊藤美香理事、吉田薫穂理事

監事総数　　5名中４名出席

（出席監事）芳賀永監事（18:50～）、宮本桜桃監事、運天ひなた監事、岡野泰樹監事

 （注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）齋藤環温監事

（理事会スタッフ）野呂香綸

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部次長、

村田マネージャー、神田マネージャー

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　安藤常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時16分に理事会規則の規定により、議長に安藤常務理事を選任した。安藤常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

**報告事項１：創立７５周年事業の件**

金川：75周年事業の企画ポリシーができる前に、企画案だけ先に決めてしまって良いのでしょうか？

もしこの大ジンパが、企画ポリシーに沿っていなければ出来ないということにならないかなと。これが理事会の議決事項となるとちょっとどうかとは思うのですけれど。議決事項じゃないとすれば、周年事業の中身をどうするかという話をしないうちに各論の中身を出すというのは適切ではない気がします。

鏡：実行委員会を立ち上げて色々なことを決めて、理事会に提案して大枠の中を決めていきたいということで、各論で申し訳ないんですが、それを含めてこういう方向で75周年に取り組んでいくぞという事を今この場面ではご承知置き頂ければ宜しいかなと思っております。

金川:この場合は報告事項に格下げ…と言ってはなんですが、議決事項ではなくて議事録では報告のほうに回していただいた方がいいかなと思います。

**報告事項９：薬学部店アンケート結果と今後の営業方針について、歯学部店アンケートの結果の報告**

伊藤：薬学部・歯学部のアンケート自由記入欄を見ていると「より長く開いていてほしい」「休みの日や長期休暇だとしても、学生や研究室で動いているから開いていて欲しい」という願いの一方、パート労働組合の要求アンケートの自由記述欄を見ていると、パート職員さんのほうは「お正月、基本は休むみたいなところをちゃんとしてほしい」など、お互い全く嚙み合ってない感じがします。組合員のニーズがどういう風になっているか、パート職員さんに伝わってないというところは「コミュニケーションが足りないのではないか」というパートさんの意見もありました。ここを繋がる様なことにならないと、パートさんも嫌になって接客態度も悪くなったりするのかなとも思ったので、今は経営自体が厳しい時期なのでわからないですけど、こういう所も検討する事が今後必要なのかなと思いました。何かしてくださいとかの要望ではなくて、感想になりますが以上です。

小助川：伊藤理事から言われた事はポイントかなと思います。営業短縮期間や休業はコロナ禍の影響で経営的に行わなくてはなりませんでした。今後はアンケートで学生さんの動向、組合員さんの希望を把握して、組合員目線ということを取り入れた営業スタイルというものをどこまで出来るかというところではあります。また、パート職員の意識と学生のアンケートの内容に乖離があるというのは、まさしくそうだよなと思います。

金川：私は昭和56年くらいから大学におり、このキャンパスでの人生がかなり長いので、その経験を踏まえてですが、多分、パートさんにとっては大学というのは一会社と変わらないという認識じゃないかなと思うのです。パートさんはご家族やお子さんを抱えており、家族優先と考えると、休みの日は休みのほうが助かるというのは当然だと思うのですよね。ただ、大学は365日24時間営業ですから、大学の福利厚生を請け負う生協としてはやらなきゃいけないという。多分入口のところからすれ違いがあるのでないかなと思うのです。一旦務めた人の意識を変えるのは無理なので、生協にお勤め頂く時にしっかりと労働条件を充分に丁寧に説明することが必要だと思います。

それは私共の事務部にも言えるのですが、教育機関の大学に勤めているというのはわかっているのですが、中身の意識はそんなに無いかなと感じるので、それはロングスパンで考えていかなくてはならないなと思います。私の感じる大学生協も、なんとなく株式会社化しているイメージがありますので、なにかこう、物事をドライに考えているところがあるので、その辺折角75周年を迎えるのであれば、歴史を振り返って何故に生協ができて、何故にここで限定された場所で営業しているのかということを振り返る、いい機会になるのではないかと思います。

その過程で生協の組合員である我々や、生協に勤めていらっしゃる職員の方も認識を改めていただける機会になればいいかなと思いますが「じゃあどんな企画をするのだ」といわれると困りますが(笑)

そこは実行委員会で検討していただければよいと思います。

小助川：ありがとうございます。

安藤：そんなに大きな事ではないのですが、薬学部のアンケートの意見を見ていると、思っていた以上に生協を存続して欲しいとか、購買があって欲しいという意見があって、そこはすごくいいことだなと思いました。今回薬学部のアンケートの回答率が良かったというのが結構大事なポイントかなと思っていて、さっき出た話ですけど「今後組合員の声をもっと拾っていく必要があるよね」となり、この様なアンケートを実施することになるかと思うんですが、今回どうして薬学部だけこんなにアンケートの回答率が良かったのか理由も分析して、明確にしたほうが今後のアンケートの回答率上昇に繋がるのかなと思ったので意見を述べさせていただきました。ほかの方で意見・質問をお持ちの方はいらっしゃいますか？

金川：両方の部局にいたので、個人的な感想を述べてもいいでしょうか？薬学部はブラックなんですよね(笑)極めてブラック！実習が始まると長期にわたって午後に実習が続いていて、実習に嵌った学部学生は行動がかなり制限されます。なので、購買を設置するときにも学部が強く動いたと思うのですが、購買があると無いとでは大きな違いなんですね。なので、その辺の理由がアンケートの結果にも表れているのではないかと思います。薬学は教育プログラムの中で実習をかなり重視しており、積極的なカリキュラムで中身が濃いんです。その点は考慮してあげたらいいのではないかなと思います。

歯学部と薬学部の違いは、学生さんの構成でいうと「東大と北大」という風に考えて頂ければイメージが湧きやすいかなと思います。親の収入云々というイメージで歯学部は東大、薬学部は北大ということで。親御さんの収入で言いますと、圧倒的に歯学部が高いです。当然あまり生協に興味はないのではないかなという率直な感想です。授業、カリキュラムが早いところ終わったら、外に行こうぜという意識が全員じゃないにしろあると思います。たしかに、奨学金を貰って一生懸命勉強している学生もいるのですけど、平均すると実態は国立歯学部の親の経済状況というのはかなり良いので、なかなか歯学部のアンケートの数字を上げようと思っても上がらないと思います。なので、歯学部は頑張って営業してもなかなか辛いところはあるかな…(笑)薬学部のほうは中身を充実させると、それぐらい見合ったリターンは出てくるのではないかなと、個人的な感想として持っています。

安藤：そういう学部のカラーの分析は必要あるかもしれませんね。ありがとうございます。

伊藤：安藤君もさっき話をしていましたが、アンケートの協力を呼び掛けたときに薬学部では学生にメールを送ってくれたということがわかっているんですが、歯学部ではどうだったのでしょうか？

鏡：歯学部のほうでも事務局にお願いしてELMSで送っていただきました。

伊藤：同じ形式ということでしょうか？

鏡：はい。ELMSでも送り方があるようです。ちょっとそこの工夫はされていなかったのかもしれませんので、他の大量のメールの中に埋もれていたということはあるかと思います。

三澤：薬学部のアンケートの自由記入欄をみて思ったのですが、「できるかどうかは別として開店時間を延ばしてほしい」という要望が結構多いかなと思いまして、ほかの店舗でもアンケートを取れば「営業時間を延ばしてほしい」という意見があるかと思うのですが、薬学部はその理由が明確というか、さっきも話題になったところですが、薬学がブラックという原因があったり、研究が深夜まであったりと、明確に見えた気がします。あまり自分から結論を言えるようなことではないのですが、その要望の根拠が明確になっているのもあって延長営業してもいいのではなかと思いました。

小助川：78Pの５番目の質問で、学内での滞在時間が５～８時間、それ以上というのが目立つのがすごいよね。本当ブラックだね（笑）そう意味でやっぱり営業時間を検討する材料になりました。

鏡：ひとまず薬学部については18時半まで営業を延長させていただいて、様子を見ながらまた考え試験的にやっていきます。

報告事項12：環境課題推進委員会報告と環境マネージメント報告

金川：これは中身まで売るわけではなくて、ボトル本体だけの話ですよね？

小助川：そうです。

金川：そうすると、マイボトルを持つと、うちだと中身はBig　Houseで買ったものになるかと思いますが(笑)

小助川：中身は取りません(笑)

金川：なので、飲料の売り上げが落ちませんかね？

小助川：コープさっぽろさんにも、そういう売り上げに影響があったか聞いたのですけど、そこは別に考えているみたいです。少しでもプラスチックを削減しましょうという目的のほうを強く取り組んでいるようです。北大生協としても多分そんなに影響はないかなと思ってはいるのですけど、すでに持っている人は持っています。

金川：さらに一歩進んで、マイボトルを持っている人には中身だけ売る、ということはできないですかね？

生協でペットボトルを買って、移しても結局ペットボトルを利用していることには変わりないですよね。そこまでいったらマイボトルへの販売というのも考慮してもいんじゃないかなという気がします。

小助川：このマイボトルを検討したときは、同じような意見を私も出しました(笑)

金川：ただ、衛生面とかの二次的な問題があるからなかなか難しいとはおもうのですけど。

鏡：そうですね。衛生面の問題もありますし、広島大生協ではスーパーなどで売っているような水の販売機がありまして、そういう取り組みが徐々に出てきていますのでしばらく研究させて頂きたいなとは思っております。

**報告事項14：営業報告について**

伊藤：生協電子マネーキャンペーンのところで、自分ももう大学に行かないだろうと思ってチャージをしなかったのですが、BCPレベルが下がって学校に行くことになったので足りなくなったらチャージしてというのを最近繰り返しているので、同じような目に遭っている学生がいっぱいいるのかなと思いました。だからもう一度やれという話ではないのですけど。タイミングが悪かったなと思いました。

鏡：毎年９月と３月に実施していたので…。専務と相談してみます。

坂爪：例えば次の第六波が来るとして、BCPレベルが３から２に落ちたときにみんな来るでしょ？そういう時に合わせてやるっていうのはインパクトあっていいのかなとおもうのですが。

坂爪：ご飯をたくさん食べようキャンペーンの今回のポスターは、協賛がちゃんと書いてあるのがとても良いと思いました。

神田：すみません。前回は抜けていました。すみませんでした。

奥山：100円のカレーのところで話を聞いていて思ったのが、学生はただ食事を安く食べたいだけじゃないと思っていたのですけど、数字的にも戻ったというのを聞いて、１日分のミールカード550円分をきっちり使って、カレーを一日五回食べた人をツイッターで見かけたのですけど、数字が増えたのは単純に魅力的だから増えたのか、それとも食事を安く食べるためにたまたま来ただけなのかというのがちょっと気になっているところです。カレーを５食食べることが栄養的に良いことではないと思うのです。店舗に来てバランスの良い食事をちゃんと食べることが大学生的にとても良いことだと思うし、必要とされることだと思うので、人数が増えて減ったことの分析や理由付けはもうちょっと考えてもいいのかなと思いました。

小助川：インパクトのある企画「100円でカレーが食べられる」という企画を行うことで、このような企画で寄ってくれたりする機会を作ることができるのか、というのを分析したかった。今客数が一日6000名、そのうち食堂4000名です。購買の客数にもつながる要因があって、自分の中で期待としては１万人来てくれないかなと考えていました。この2年間、一万人を超えるという事がなかったものですから、そういう面では一万人を超えるような価格帯やお腹いっぱい食べられるということにひきつけられて寄ってくれるかを知りたいというのがこの企画の最初の目的であったものですから、相対的に客数が増えた、減ったというのが中心的になったかなと思います。

奥山：今のところで言うと、今回の企画を否定するとかではなく、面白い企画だったなぁと思うので、それが原因分析をして今後の事業計画とかメニューの展開に繋がっていったらいいなという意見でした。私は久しぶりに食堂で行列を見られたのでとてもうれしかったです。行列は嫌いなのですけど、懐かしくなりました。

小助川：自分も初日に見に行きましたが、たくさん取ってくれている学生さんの姿を久々に見て「なんかいいなぁ」って。ただ、健康面とかそういうのは別としてね。そういう感じで見ていました。

金川：こういったキャンペーンなのですが、数日間集中してやるのではなく、毎月第３金曜日はカレー100円の日とか、継続的にちょこちょこやったほうがいいような気もします。どうしても集中でやると一過性で終わってしまう傾向が高いと思うので、継続的に生協に足を運ぶ機会を作ったほうがもしかして効果があるのかな。例えば毎月第三金曜日は電子マネーのチャージで〇％プレミアが付くとか、バーターでカレーの100円企画もすると「チャージもプラスだし、カレーも100円だし、なら生協に行くか！」となったりするかなと、継続的にやることによって少しずつ増えたりもするかなという気もします。

小助川：コープさっぽろも○○の日とかありますね。イオンとかでもそうですけど。参考意見とさせていただきます。

**報告事項15：新学期事業に関しての報告**

坂爪：質問なのですが、最後の151Ｐの加入申込期限が書いてあるというのはどういう意味なのでしょうか。

鏡：これは学生証発行に合わせてデータを入力しなくてはならないので、それに間に合う目安としています。加入自体は通年でやっています。ひとつの目安としてこういうふうにしようということを全国大学生協連で統一した指導があって、このように掲載しているものです。

坂爪：もうちょっと説明した方が良いのか、書いてあるのがわかりにくい。

鏡：「説明しきるな」というのがあります。電話問い合わせなどがあった場合は「全然問題ないですよ」とお答えしているところではあります。

金川：今の坂爪理事長が指摘された部分なのですが、「４月から使うためにはこの日までです」というのは書けないですか？

鏡：それは中の方に書いてあります。「申し込み締め切りまでに紙の申込用紙で申込みいただくとＩＣ学生証にデータを入れてお渡しできますよ」と文中に記載してあります。

金川：表紙に日時をかいているのは、インパクトでかすぎじゃないですか？この日までにしないとダメっていう印象を持つ親がたくさんいるのではないでしょうかね。自分が子供たちを大学に入れてしたことを考えるとこれを見るのはほぼ親ですよね？そうすると年長の方が多いので、こういう大きいインパクトを受けるとそう思っちゃう方が「もう、息子、娘が入学しちゃったから加入が手遅れだわ」って。加入率から言えばそんなこともないかと思うのですけど、個人的にページのインパクトはでかすぎるかなって気がします。

鏡：保護者は全員初めて見るので、金川理事の印象は正しいのかなとおもいます。この形で何十年もやっていて、経験値でもあって、ひとまず締切日を設けないとそこに向けての加入がされないというのがあります。これまでの経験などの結果、今こうなっているということで、実際には4月23日まで加入WEBがご利用いただけるのですが、そういうことは中の方にもお読みいただければ掲載はしておりますので、そちらの方で知っていただけるかなと思います。

**監事会報告**

坂爪：理事長宛になっておりますので、わたくしから質問いただいたことに関しましてお礼を申し上げたいと思います。

いずれも難しい質問ですが、緊張感をもって理事会で検討させていただきたいと思います。

芳賀：よろしくお願いいたします。私の意見なのですが、せっかく理事会という会議体と監事会という会議体がそれぞれありますのでそれぞれおたがい緊張関係を持ちながら、今現在抱えている危機的な状況をみんなで脱出することができるとおもいますので是非よろしくお願いいたします。

坂爪：わかりました。今後検討します。

以上を持って、本日のwebテレビ会議システムを用いた理事会は、終始異常なく全ての議事が終了したので、議長は20時17分に終了を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席役員は署名又は記名押印した。